



後期に向けて

副校長 加部 務

猛暑日が続いた今年の夏、そして残暑厳しい9月でしたが、ようやく朝夕の空気に秋らしさを感じられるようになりました。

前期は、感染症対策を講じながら、従来の実施形態で教育活動を進めることができました。6月に実施した陸上競技記録会をはじめ各部活動の大会では、保護者の皆様にも生徒の雄姿を見ていただくことができました。9月には1年生の宿泊防災訓練を実施しました。男子は体育館、女子は視聴覚室に就寝場所を設営しました。非日常の生活に不安な一面も見られましたが、生徒は、それぞれの訓練に真剣に取り組み、充実した宿泊防災訓練となりました。御協力ありがとうございました。



～読書の秋～

開放的な図書室へ！

現在リニューアル中

さて、今日から後期の授業が始まります。後期には、様々な行事が計画されています。1年生は10月に移動教室、2年生は1月に、実に4年ぶりとなる長崎県での修学旅行があります。また、自身の所属するコースが決定します。3年生は、9月16日から随時、採用選考が開始され、それぞれの進路決定に向けて動き出しています。

生徒は、前期に立てた目標を振り返り、それぞれが自身の強みと課題に向き合いながら、後期の目標を新たに立てました。生徒の可能性を伸ばし、それぞれの目標が達成できるように、後期も教職員一同尽力して参ります。引き続き、皆様の御理解、御協力をよろしく願います。

読み聞かせ

介護・コミュニケーションコース主任 武田 亘生

介護・コミュニケーションコースの3年生は、9月14日（木）に肢体不自由教育部門の小学部を対象に絵本の読み聞かせを行いました。児童との直接交流は初めての経験で、絵本を選ぶところから試行錯誤を重ね、繰り返し練習をしました。その中で、「絵が見えやすいように、拡大絵本にしよう」「読み方のペースをゆっくりにしよう」など、相手の立場になって考えることができました。

当日、開始時は緊張した様子でしたが、児童たちが、読み聞かせを心から楽しむ様子を見て、次第に緊張が解れ、和やかな雰囲気の中で、一緒に絵本の世界を楽しむことができました。読み聞かせを通し、聞き手のことを思い、コミュニケーションの大切さについて考える機会になりました。これからも交流の機会を広げていけるように取り組んでいきます。



一泊二日宿泊防災訓練

生活指導主任 橋爪 淳

令和5年9月15日(金)から16日(土)、高等部就業技術科1年生と肢体不自由教育部門高等部1年生が、本校にて一泊二日宿泊防災訓練を行いました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症が2類から5類に移行されたこともあり、実体験に基づく様々な訓練を実施しました。この取り組みに加えてあらゆる場面で、感染症対策を講じることを統一のテーマとして行いました。

消火器訓練、救急救命訓練では、志村消防署と連携を図り、「大切な命を救うために必要な行動」を学びました。

避難場所設営訓練では、多数の被災者が避難所生活を余儀なくされたことをイメージして「良好な避難所生活の確保」について学ぶことができました。

災害備蓄品利用訓練では、「災害時こそ食事が大事であること、食べることは生きること」について身をもって経験いたしました。

防災学習では、スマート・スクール端末を活用して、南海トラフ地震は、いつ起きてもおかしくないことを踏まえて、「そのときの備え」について学習しました。

様々な訓練を通じて、「自助」、「共助」の大切さについても学習を深める機会となりました。

大規模な災害が発生し、帰宅困難者になっても学校は安全な場所として待機することができました。不便・不都合に感じたこともたくさんあったと思いますが、これから生活する上で大事な経験にしてほしいと思います。



○災害備蓄利用訓練



○就寝場所設営利用訓練

スマート・スクール端末について

教育情報部主任 徳岡 壮平

東京都教育委員会では、全校に無線LANを整備し、令和4年度入学生から教育活動場面において、生徒所有の一人1台端末を活用した学びを始めました。就業技術科では、オンライン上からデータを取り出し、課題や創作に取り組む活動を行っています。また、制作物をプロジェクターに映し出し、自分の考えをまとめて、伝えることにも取り組んでいます。デジタル社会を生きていく生徒たちにとって今やPC端末は、必要不可欠なものとなっています。志村学園では、デジタルだけに頼ることなく、今までどおりアナログの良さも大切に学習場面等により、どちらの良さも適切に組み合わせ生かしていきます。

